



## 一生懸命、ひと夏のものづくり体験

### 専門学生による電子工作の出前授業

ミナテラスで8月9日、熊本高等専門学校<sup>高等専門学校</sup>の学生ボランティア 26 人による電子工作の出前授業が行われ、小学生約 50 人がものづくりの世界を体験しました。

当日は「スライム作り」や「ホチキスでオルゴール作り」など4つのブースが設けられ、学生たちがそれぞれ対面指導。細かい作業に真剣な表情の子どもたちも一生懸命、自分の作品を作り上げました。

同校の菊池耕士先生は「技術を“伝えられる力”が必要。学生にとっても学びの場所です」と話しました。



カーボンを溶かして立体的な絵を描く「3Dペン」の体験



「腿上げ」の練習 3人の先生から熱心に指導を受けた

## 速く走るための練習方法を学ぶ

### 町では初開催となる陸上教室に約 50 人参加

町陸上競技場で8月16日、陸上教室が行われました。

町では初開催となる陸上教室で指導にあたったのは、熊本大学陸上スクールの平野龍さん<sup>ひらのりゅう</sup>、金子智哉さん<sup>かねこともや</sup>、中満絵美さん<sup>なかつ えみ</sup>の3人。多くの生徒を全国大会に輩出している先生たちから速く走るコツを学ぼうと、小中学生や一般から、約 50 人が参加しました。

体の可動域を広げる練習では、普段しない動きに戸惑いつつも参加者同士確認しあい、先生の示す動きに近づこう練習に励みました。

## 子ども相撲を「えんまさん」に奉納

### 寺迫地区伝統の「えんまさんまつり」

寺迫交差点近くにある閻魔堂で8月16日、「えんまさんまつり」が行われ、多くの人で賑わいました。

地域が主催のこの祭りは、寺迫地区の役員や婦人会など約 50 人が協力し、毎年 16 日に開催。一番の見どころに子ども相撲があり、約 50 人の子どもたちが「えんまさん」の前で元気いっぱい相撲を取りました。

子ども相撲を応援していた松本正さん(寺迫)は「昔からある伝統の祭り。地域が活性化するために、こういう祭りも必要ですね」と笑顔で話しました。



閻魔堂から見える子ども相撲の風景

Best Smile

今月のベスト笑顔

